

【④JSPAC (ジャスパック) 耐震工法】

●概要

- ・ JSPAC (ジャスパック) 耐震工法は、当協会が推奨する次世代型耐震補強工法です。
- ・ あらゆる建築に対応する安価で容易な耐震補強工法として当協会が開発し特許を取得いたしました。
- ・ 本工法は、柱せん断耐力の増大を目的に、繊維シート工法と鋼板巻き工法を併用した新たな柱巻き工法です。
- ・ 耐震性、施工期間、費用の面において優れた性能を発揮します。
- ・ 耐震補強工事に本工法を採用する場合、当協会の認定施工会社のご紹介が可能です。

JSPAC 標準-type 施工フロー



軸補強筋設置



JSPACプレート設置



鋼板の段差修正
 耐震補強JSPAC繊維シート貼付



Image illust

JSPACグラウト材充填
 仕上げ



JSPAC 外付-type 施工フロー



image illust

- 柱補強面に接着アンカー
取り付け工
- 補強筋の配筋工

- 分割JSPACプレート設置工
- JSPACプレート設置

- 耐震補強JSPAC繊維シート接着工
- タイバー取付工

- JSPACグラウト材充填
- 仕上げ



●JSPAC耐震工法5つのメリット

- ・JSPAC耐震工法を特徴づける5つのメリットは、それが従来の耐震補強工法に優る点であることの証です。

活なから 汎用 堅固 耐震 低コスト

★メリット-1

建物を使用しながらの居ながら施工が可能です

- ・工事中は引っ越ししなくてはなりませんか？
普段通りに生活できますか？
使い勝手が変わりませんか？
- ・「JSPAC耐震工法」では、従来の鋼板巻き補強工事に比べて溶接を必要としないため安全が確保でき、最小限の仮囲いの中で作業が行われことから、建物を使用しながらの居ながら耐震補強施工が可能となりました。
- ・当協会では、飲食店でも営業を継続しながら耐震工事提案の実績もございます。

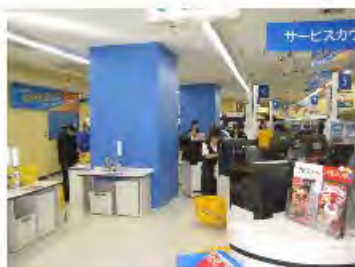


Image photo

★メリット-2

様々な建物への対応が可能です

- ・「JSPAC耐震工法」では、建物の各部の形状に応じた施工が可能です。そのため、マンションやオフィスビル、学校の校舎など、様々な建物に応用することが可能です。
- ・通常はコンクリート柱へ適用するケースが多くを占めますが、状況によっては鉄骨造などの構造物にも応用が可能です。
- ・また住居や商業ビルにとどまらず、工場や映画館、音楽ホールなどの高天井の施設や、橋脚、高架の支柱などの建物への耐震補強にも対応します。



★メリット-3

建物周辺への影響がほとんどありません。

- ・「JSPAC耐震工法」とは、重機を使用せず狭い場所でも作業ができる厚さ3ミリほどの薄い鉄板と、耐震補強樹脂シートを、既存のコンクリート柱に巻き付け固定する工法です。本工法では、新たに壁や柱を増設する必要がないため、従来の工法に比べてシンプルに施工できます。
- ・完成後も建物の周辺にはほとんど影響がなく、内部空間にも圧迫感を与えないため、デザイン性の高い建物や、雰囲気重視されるホテルなど、様々な建物に活用できる耐震補強工法です。



【耐震補強前】



【JSPAC耐震工法による耐震補強後】